平成22年11月25日

平成22年 第11回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成22年第11回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成22年11月25日（木曜日）午後1時57分～午後2時35分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・7会議室

3. 出席委員 1番 鈴木敏彦（委員長）

2番 小泉美佐子

3番 土田 豊

4番 武石修一郎

5番 佐久間 榮 昭（教育長）

4. 欠席委員 な し

5. 説明職員

学校教育部長 小 島 昇 公

社会教育部長 小 俣 学

学校教育部
参事兼
指導室長
今 城 徹

学校教育課長
兼特別支援
教育係長
田 代 雄 己

給食課長 梶 川 義 夫

統括指導主事 小 池 雄志郎

社会教育課長 佐 伯 芳 幸

中央公民館長
兼 狭 山 長 島 孝 夫
公 民 館 長

中央図書館長
兼 桜 が 丘
図 書 館 長
松 井 悟

6. 書 記

庶務係長 尾 又 齊 夫

主 事 谷 本 惇

○議事日程

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長諸務報告

第3 第12号報告 事務の臨時代理の承認について

第4 第33号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部改正に係る意見の申し出について

第5 その他報告事項 平成21年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」及び平成22年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

◎開会の辞

○鈴木委員長 ただいまから平成22年第11回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○鈴木委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は武石委員をお願いいたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○鈴木委員長 日程第2、教育長諸務報告を行います。
教育長。

○佐久間教育長 それでは、平成22年10月19日から平成22年11月22日の間の諸務報告を申し上げます。

平成22年10月19日、七市教育長会に出席いたしました。本年6月に行われました市議会及び9月に行われました市議会の状況について、各市が報告し、話し合ったものであります。各市で共通して取り上げられる主な項目は、いつもと同じで、いじめ問題、学力及び体力の向上、それから30人学級等について、あるいは今年の猛暑に関しての今後の暑さ対策等が多く挙げられております。

10月20日、東京都市町村教育委員会連合会第3ブロック研修会に出席いたしました。東久留米市郷土資料室で開催され、東久留米市の文化財について講演があり、その後、東久留米市内の古民家を見学いたしました。

10月23日、第十小学校の運動会を見学いたしました。

10月28日、教育委員の学校訪問で第三中学校を訪問いたしました。

10月29日、第五中学校の合唱コンクールを見学いたしました。

10月30日、市民水泳大会開会式に出席いたしました。大会には、延べ325の方がエントリーされ、競技が行われました。

11月2日、教育委員の学校訪問で第九小学校を訪問いたしました。

11月3日、市民文化祭閉会式に出席いたしました。

11月5日、第一中学校の合唱コンクールを見学いたしました。

同日、教育委員懇談会に出席いたしました。

11月6日、産業まつり開会式に出席いたしました。産業まつりは、11月6日と7日の2日間に行われまして、約2万7,000の方が来場されました。

同日、武蔵村山市立小中一貫校村山学園開校記念式典に出席いたしました。

11月9日、校長会定例会に出席いたしました。私からは、2学期の行事が順調に進んでいることに対するお礼と、東京都が学力状況調査を7月に行い、その採点を各学校で行う自校方式にしたいと考えていることをお知らせいたしました。

11月10日、あいさつふれあい駅頭キャンペーンに参加いたしました。私は、武蔵大和駅での活動に参加いたしました。

11月13日、第一小学校、第二小学校、第五小学校及び第八小学校の学習発表会を見学いたしました。

11月14日、福祉祭開会式に出席いたしました。福祉祭には、約1万2,000の方が来場されました。

11月16日、ふれあい市民運動会第3回企画運営委員会に出席いたしました。ふれあい市民運動会の反省点について協議したものであります。各ブロックの皆さんの感想では、おおむね運動会に好意的な意見をいただけたと考えております。

11月17日、青梅信用金庫主催の地域懇話会に出席いたしました。当日、「失敗知識を活用する」という題材で、失敗学副会長、飯野謙次氏の講演がありました。

11月18日、東大和市公立小中学校PTA連合協議会と市長・教育長との懇談会に出席いたしました。6つの項目について意見交換を行いました。なお、ただいま申しあげました6つの項目につきましては、お手元にお配りした資料をご覧くださいと存じます。

11月19日、第七小学校開校40周年記念式典に出席いたしました。

11月20日、狭山公民館まつり開会式に出席いたしました。狭山公民館まつりは、11月20日と21日の両日に行われまして、約850の方が来場されました。

同日、第三小学校、第九小学校の学習発表会を見学いたしました。

また同日、第四小学校、第六小学校の展示発表会を見学いたしました。

11月22日、都立東大和高校創立40周年記念式典に出席いたしました。

以上で諸務報告を終わらせていただきます。

○鈴木委員長 教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、ご質疑等ございましたらご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第12号報告 事務の臨時代理の承認について

○鈴木委員長 日程第3、第12号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

議案の朗読をお願いいたします。

(書記朗読)

○鈴木委員長 説明をお願いいたします。

教育長。

○佐久間教育長 ただいま議題となりました第12号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、教育財産であります旧教育センターの公用廃止にかかわるものであります。

当該施設は、昭和46年に建築され、老朽化が著しいことから、平成22年10月18日に教育相談室及び教育情報室の機能を市立第三小学校内に移転したため、現在は教育相談室及び教育情報室として使用する必要がなくなりました。このことから、教育財産の公用廃止とする必要が生じましたが、公用廃止するためには、本来は東大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第7号の規定により、教育委員会に付議する必要があります。しかし、当該施設を早急に解体する必要があるため、同規則第3条第1項の規定により、平成22年10月26日付で事務の臨時代理をさせていただきましたので、今回の教育委員会にご報告申し上げ、承認をお願いするものであります。

概要につきましては、学校教育部参事兼指導室長事務取扱、今城室長からご説明申し上げますので、よろしく願い申し上げます。

○鈴木委員長 指導室長。

○今城学校教育部参事兼指導室長 それでは、概要についてご説明させていただきます。

教育委員会では、昨年、平成21年4月、学校教育部の職員による東大和市教育委員会課題検討会を設置し、当面する課題の対応等について検討を進めております。第三小学校に教育センターを移設する件につきましても重点課題として取り

上げ、検討してまいりました。昨年12月に行政財産の売却について検討の依頼、指示がありました。これに基づき、旧南街の公民館を使用していました教育センターの老朽化により、何度となく修繕をしてまいりました。しかし、耐震補強工事も未実施であるということで、検討を重ねた結果、第三小学校の余裕教室を有効活用することが最善の方法と考え、22年度移設することとしたわけでございます。

具体的には、先日ご視察いただきました第三小学校、西側校舎3階部分を独立させ、教育センターとすることにしたというものでございます。これにより、旧教育センターの公用廃止とすることとなりました。

以上でございます。

○鈴木委員長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

ありませんか。

では、私のほうから1点ですけれども、第三小学校が今度、教育センターになった部分、あの部分については、管理は教育委員会管理ということになるわけでしょうか。

指導室長。

○今城学校教育部参事兼指導室長 そのとおりでございます。

○鈴木委員長 わかりました。

質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第3、第12号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木委員長 ご異議なしと認め、第12号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認と決めます。

◎日程第4 第33号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部
改正に係る意見の申し出について

○鈴木委員長 日程第4、第33号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部改正に係る意見の申し出について、本件を議題に供します。

議案の朗読をお願いいたします。

(書記朗読)

○鈴木委員長 説明をお願いいたします。

教育長。

○佐久間教育長 ただいま議題となりました第33号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部改正に係る意見の申し出についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、来年、平成23年4月1日からありますが、東大和市民体育館の休場日を、現在の毎週火曜日から月1回の第3火曜日とすること及び開場時間を個人利用の場合、水曜日と金曜日を午後11時まで利用できるようにするため、本条例の一部を改正するものであります。

内容についてご説明申し上げます。

休場日の変更につきましては別表第3を、開場時間の変更につきましては別表第4を、また開場時間の変更に伴う料金改定につきましては別表第5を改正するものである。

なお、詳細につきましては社会教育部長からご説明申し上げますが、この条例改正につきましては、市長名で12月の市議会定例会に提案していただくこととなります。そのため市長に対し、意見の申し出を行うものであります。

以上であります。よろしくお願い申し上げます。

○鈴木委員長 社会教育部長。

○小俣社会教育部長 それでは、改正内容につきましてご説明申し上げます。

東大和市体育施設等に関する条例の一部改正につきましては、第33号議案に資料が添付されておりますので、そちらでご説明させていただきたいと存じます。資料のほうは、改正に伴う新旧対照表でございまして、A3判、3枚となっておりますので、よろしくお願いいたします。

今回ご説明させていただきます条例改正の内容は、市民体育館の運営に関するものでありまして、改正する内容は次の3点であります。

条例案、2枚をおめくりいただきまして、資料の1ページをご覧いただきたいと存じます。

上半分でございますが、別表3の表内、表の一番上でございますが、東大和市民体育館の休場日の欄でございます。

1点目は、休場日の変更でございますが、現在、市民体育館は毎週火曜日が休みとなっておりますが、改正後、半分の右側の改正案のほうの市民体育館の休場日のほうをご覧くださいますと、改正後は毎月第3火曜日というふうにしてございまして、そちらに改めるというものでございます。

続きまして、2点目でございますが、開場時間の延長でございます。真ん中から下半分になりますが、別表第4の表の一番上になります。現在、市民体育館の開場時間につきましては、午前9時から午後9時半まででございますが、これを、休日を除く毎週水曜日と金曜日に限り午後11時までと延長することに改めるものでございます。なお、延長する時間帯となります午後9時30分から午後11時までの1時間30分につきましては、貸し切り利用ではなく個人利用とするものでございます。

最後に、3点目でございますが、開場時間を延長することに伴います新たな利用料金の設定でございます。資料は、2枚おめくりいただきまして3ページ、別表5のイ、アイウのイでございますが、右側、個人利用の表をご覧くださいと思います。こちらの表の中で、右から2番目の欄をご覧くださいと思います。現在、個人利用の料金は2時間30分を基本とし、大人300円、子供100円と定めてございますが、改正後につきましては延長時間に当たります21時30分から23時までの1時間30分に相当する料金といたしまして、大人180円、子供60円という金額を新たに設定するというものでございます。

なお、附則でございますが、条例の施行日は平成23年4月1日でございます。

以上、3点の改正でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

以上でございます。

○鈴木委員長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

なければ、1点、私のほうからお願いします。

この午後9時30分から午後11時までの個人利用の延長は、需要が結構あるものなのかどうかということと、この時間帯で一応子供も対象にしているわけですが、親子連れとはいえ、親子で来て卓球することでもあるのかどうか、その辺はどうなのでしょう。

部長。

○小俣社会教育部長 今2点いただきましたけれども、最初のまず需要があるかで

ございますけれども、11時まで実施する、延長することに関しましては、近隣市では立川市、小金井市、福生市、東久留米市、この4市が既に実施をしております、そちらにも確認しましたところ、たくさんの方に利用していただいているというような動向は一応伺っているところでございます。今回の延長に関しましては、指定管理者、シンコースポーツのほうからの意向もございました。週2回ということもございまして、全日にするには、まず利用動向を確認してから広げたいというふうには言っておりますが、その週2回、水曜日はノー残業デー、それから金曜日は週末ということで、利用の動向を調べていきたいというふうには聞いておるところでございますが、シンコースポーツの指定管理者としますと、需要はあるというようなことは確認して進めてきたところでございます。

それから、2点目でございますが、子供対象ということで、親子での想定というお話でございますが、もともと現在も子供だけの利用は7時までということで、制限をさせてこさせていただいております。今後もその利用の制限については続けていくのでありますが、今後の延長に関しましては、想定としましては、子供の設定としましては親と一緒に利用とか、あと指導者と一緒に、引率、連れて一緒に来た子供たちと一緒に練習をするというような想定をしているところでございます。なお、子供だけのですね、親子ですね、想定としましては、第一体育室でのバスケットボールとバドミントン、それから地下の第二、第三体育室での柔道とか剣道とか、そういう練習が個人利用で想定をされるところであるというふうに認識しているところでございます。

以上です。

○鈴木委員長 ほかにありませんか。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第4、第33号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部改正に係る意見の申し出について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木委員長 ご異議なしと認め、第33号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部改正に係る意見の申し出について、本件を承認と決めます。

◎日程第5 その他報告事項

○鈴木委員長 日程第5、その他報告事項です。

平成21年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」及び平成22年度「全国学力・学習状況調査」の結果について、本件の報告をお願いいたします。

統括指導主事。

○小池統括指導主事 では、平成21年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」及び平成22年度「全国学力・学習状況調査」の結果について、ご報告いたします。

資料をご用意いたしましたので、ご参照ください。

初めに、平成21年度東京都教育委員会によります児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果についてご報告いたします。

ページ、1をご覧ください。

平成21年度の児童・生徒の学力向上を図るための調査は、本年1月に東京都教育委員会による抽出校を対象に行われました。本市においては、小学校2校、中学校1校が抽出校となりましたが、他の小・中学校がすべて実施を希望いたしましたので、最終的にすべての小・中学校での実施となっております。

内容は、小学校4年生と中学校1年生を対象とした国語、算数・数学の基礎的・基本的な事項の調査及び意識調査となっております。

結果につきましては、資料のとおりでございます。

ページ、2をご覧ください。

これは、その際、行われました本市の児童・生徒の意識調査結果の抜粋でございます。授業がわかると答えた児童・生徒について、その授業がわかる理由を小・中学校別、教科等別に複数回答可として調査し、分析した結果です。それぞれ教科ごとに回答率の上位2項目、または回答率が40%以上のものを掲載してございます。

小学校におきましては、回答率の高かった項目は、理科の「観察したり、実験したりする授業が多いから」の82.8%を筆頭に、「観察や実験をした後に、しっかりまとめをする授業が多いから」、「自分で予想し、それを確かめる授業が多いから」となっており、また算数におきましては、「算数の問題にはいろいろな解き方があるから」。総合的な学習の時間におきましては、「グループになって、共同して学習するから」、「実際に体験したり、調査・見学したりする授業が多

いから」などと続いております。

中でも総合的な学習の時間につきましては、「博物館や郷土資料館等の地域における施設を活用するから」という項目を選んだ本市児童の割合は40.2%に上り、都の平均であります25.8%を大きく上回っているという結果が出ております。

このように、東大和市の小学校においては、社会教育との連携もあり、児童が観察や実験、調査、取材活動をするなど、体験的な活動の充実が効果を上げていると考えられます。

一方、中学校におきましては、回答率が高かった項目といたしまして、国語科では、「国語の先生の教え方がていねいだから」、これが48.5%となっております。また、総合的な学習の時間、「グループになって、共同して学習するから」、英語の「英語の先生の教え方がていねいだから」、理科、「理科の先生の教え方がていねいだから」、社会、「社会の先生の教え方がていねいだから」というように続いております。

市教育委員会指導室としましては、これまで取り組んでまいりました教員の授業力の向上、授業改善による成果が示唆されているのではないかと考えております。

また、小学校の算数で、「コースに分かれた少人数の学習があるから」と答えた児童が43.5%、国語で「出された宿題をきちんとやっているから」と答えた児童が41.5%おり、個に応じた指導の一層の充実、あるいは学習習慣の定着を目指した家庭との連携ということが、今後の大切な視点となってくると考えます。

次に、平成22年度、文部科学省、全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

ページ、3をご覧ください。

平成22年度の全国学力・学習状況調査は、本年4月に文部科学省による抽出校を対象に行われました。本市におきましては、小学校3校、中学校1校が抽出校となりましたが、最終的にすべての小・中学校での実施となっております。その際、補正予算を組み、希望利用校につきましても採点業務を抽出校と同じ業者に委託をいたしました。このことによって、学校の負担を軽減するとともに、抽出校と同じ精度で市内全小・中学校の結果をまとめ、分析することができたと考えております。

調査内容は、小学校6年生と中学校3年生を対象とした国語及び算数・数学の

主として「知識」に関する調査と、主として「活用」に関する調査となっております。

主として「知識」に関する調査とは、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させているかを見る調査であり、また主として「活用」に関する調査とは、基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力がはぐくまれているかを見る調査となっております。結果につきましては、お手元の資料のとおりでございます。

ページ、4をご覧ください。

これは本市の児童・生徒の調査結果を教科ごと、内容領域別に、全国データと平均正答率を比較したものでございます。全国の平均を基準、すなわちゼロとしてグラフ化しております。

上の段の小学校6年生の国語を見ますと、「書くこと」の内容領域で、主として「知識」に関する調査における本市児童の平均正答率が、全国の平均正答率を上回っていることがわかります。また、下の段の算数を見ますと、「数と計算」の内容領域で、主として「活用」に関する調査における本市児童の平均正答率が全国の平均正答率を上回っていることがわかります。

小学校の概況といたしましては、国語では活用よりも知識で好成績をおさめている傾向があり、算数では反対に知識よりも活用で好成績をおさめている傾向があります。

続いて、中学校の結果についてです。

ページ、5をご覧ください。

上の段の中学校3年生の国語を見ますと、「話すこと・聞くこと」の内容領域で、主として「活用」に関する調査における本市生徒の平均正答率が、全国の平均正答率を大きく上回っていることがわかります。

中学校の概況といたしましては、国語では「話すこと・聞くこと」を除いて、活用よりも知識で好成績をおさめている傾向があり、数学では反対に知識よりも活用で好成績をおさめている傾向があります。

今後は小・中学校とも知識と活用のバランスを重視し、各校の実態に即してよいところを評価し、さらに伸ばしながら他の内容についても向上を図っていくよう指導してまいりたいと考えております。

なお、資料のほうで学年の記載がちょっと誤っておりました。3ページのとこ

ろで、対象が小学校6年と「中学校1年」となっておりますが、これは「中学校3年」の誤りでございます。大変申し訳ございませんでした。

では、戻ります。

今後は、今申し上げましたように、知識と活用のバランスを重視し、よいところを評価し、さらに伸ばしながら、他の内容についても向上を図っていくよう指導してまいりたいと考えております。

最後になりますが、今回の調査結果の分析に当たりましては、採点業務を外部委託することができたことにより、抽出校だけでなく市内全小・中学校の結果について分析し、結果を全校に還元することができました。分析の内容につきましても、単に教科ごとの平均点の比較だけではなく、内容領域ごとに細かく比較分析を行うことができ、本市の児童・生徒のよい点や、各学校の教員の授業改善や、学力向上の成果等についても明らかにすることができたと思います。今後もこれらの分析結果をもとに、引き続き本市児童・生徒の学力向上を図ってまいりたいと考えております。

以上です。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

では、先に私のほうから4点。

感想ですけれども、資料の2ページで、授業の内容がわかる理由は、小学校の場合は、やはり体験的な学習が非常に効果があるということがはっきり言えると思うんですね。中学校の場合は、丁寧な指導というのがキーワードになっているようで、ぜひこれからも授業の改善には体験的な学習の導入と丁寧な指導を心がけていきたいと、成果を上げていただきたいと、分析で報告されたとおりで感じました。

それから、2つ目は学社連携というか、学校と社会教育の連携というのが非常に大事なということ、この数字を見て改めて思い出しました。社会教育のほうで、特に郷土資料博物館の学芸員などの協力を得ることは、学校の学力向上にとっては欠かせない教育活動なんだということ、改めて感じましたので、この点もぜひ推進していただきたいと、こう思います。

それから、3つ目、採点事務のほうですけれども、やはり客観的な資料を得るためには、同じ方法で採点をして分析をしていただかないと余り価値がないと思

いますので、これからも、まあ今年度の場合は補正予算を組んでやっていただいたわけですが、先ほどの教育長の諸務報告の中にもありましたが、都の傾向としては自校採点という方向になりそうな不安もあるわけですが、できるだけこの点も頑張ってください、予算の獲得に努めていただけるとうれしいと思いました。

それから、最後ですが、この5ページが一番下で、国の平均、都の平均を上回っている数字が出ているのは、こういう結果が出たということは必ず原因があるに違いないですよ。だから、各学校でも、各学校が展開している教育活動のどういうことが原因となって好成绩をおさめたのかということ进行分析してもらいたいと思うんです。平均を上回らない事柄についての分析も大事ですが、やはり好結果についての分析も、必ず原因を究明して、活用できると思いますので、その点を進めていただきたいと思います。

報告された内容とダブっていることを申し上げましたけれども、感想を含めて以上でございます。

ほかにございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 では、質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○鈴木委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程はすべて終了いたしました。

これをもって、平成22年第11回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 2時35分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会委員長 鈴木 敏彦

会議録署名委員 武石 修一郎